

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：カール・ヴィルヘルム・ステンハマー / ガバナー：野中 弘之

会長：内山俊夫 / 幹事：山本憲作

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会 場：アドバンテスト

行田クラブハウス

クラブ会報委員会

委員長：境野登章 / 副委員長：廣川和夫

委 員：島田修、鈴木貴大、田中敏男

石渡健司、小菅克祥、廣世雅昭

2005～06 国際ロータリーのテーマ

「超我の奉仕」



SERVICE Above Self

第1935回 例 会 (8月25日)

来訪者のご紹介

国際ロータリー第2570地区情報委員長

栗山 昇 様

会長挨拶 内山俊夫 会長



皆さんこんにちは。

前回のガバナー公式訪問におきましては、会員皆様のご協力により素晴らしい公式訪問行事が終了しました事を感謝申し上げます。

当日は、まず「アジアの子どもたちの絵日記展」にご案内しました。識字率の向上等本年度のロータリークラブ中心テーマにおける、行田ロータリークラブの地域社会への取り組みを、野中ガバナーより高く評価されました。

その後、行田市立図書館における、「行田ロータリー文庫」の除幕式に参加していただきました。本年度は835冊の児童向け図書を寄贈いたしましたわけですが、野中ガバナーよりこのような活動は他に見る事がなく、未来をになう子ども達への教育に非常に効果のあるプログラムであるとの評価をいただきました。

また、除幕式には津田教育長、安部図書館長様にもご参加いただき、感謝と今後とも行田ロータリークラブの協力をお願いされました。

次に、入会3年未満の会員との懇談会を13名にて、約1時間開催されました。各会員より自己紹介

とロータリーに思う事をおもいおもいに発表していただきました。

野中ガバナーよりは「楽しめるロータリー活動」として、例会あるいは炉辺でコミュニケーションの向上と積極的な奉仕事業への参加が、ロータリーを楽しくする方法でもあるとのアドバイスをいただきました。意義深い懇談会でありました。

公式訪問例会、クラブ協議会と開催され、野中ガバナー、そして、古屋ガバナー補佐から当クラブの活動、そして運営のあり方につき非常に高い評価をいただきました事を報告いたします。

さて、8月はロータリーの会員増強および拡大月間です。8月号のロータリーの友を参考に致しますが、世界中のロータリアンの数では1位アメリカ、約38万8千人です。2番目に多い国は日本で会員数10万3700人で、アメリカの約3分の1強の会員数です。3番目はインドで9万人と日本に近い数字であります。

人口占めるロータリアンの割合はアイスランドをトップにヨーロッパの国々が上位を占めておりますが、会員数の上昇は東アジア（日本を除く）が上昇傾向にあるとの事です。

しかし、世界全体的には残念ながら右肩下がりの傾向を示しておるとの報告です。

会員増強はクラブの活力を向上させ、特に奉仕活動、親睦活動が高まることにより、地域における奉仕の実績も向上しロータリークラブとして、また、ロータリアンとして本来の奉仕の活動も、より効果的なものとなることは間違いありません。

RI会長の1クラブ1名の純増という目標を定めております。目標として達成可能な数字を示されたいわけですが、その意味から、当行田ロータリークラブと致しましては、会員増強委員会の小林委員長と純増1名は最低限の目標として、今年度の会長方針としても盛り込ませていただきました。

現会員72名は地区内においては会員数としては上位にありますが、会員増強にあたりましては会員一人一人がロータリアンとして相応しい方を推薦いただきたいと、お願い申し上げます。

また、本年度は家族委員会が活発に活動できるプログラムを計画し実践しております。ぜひ、出席が少ない会員にお声がけいただき、参加を促進しロータリーの楽しみと魅力を感じる機会を得られるよう

(次頁へつづく)

ご協力をお願いします。これは退会防止も会員増強でありますのでよろしくお願いします。

本日は、地区ロータリー情報委員長の栗山昇（朝霞RC）様にお越しいただきました。ミスター手続き要覧でございます。

お話の中でロータリーの楽しさ、書してロータリアンとしての誇り等について勉強させていただきます。

以上会長報告といたします。

委員会報告

持田 家族委員長



皆さん今日は、家族委員会からご報告いたします。

9月11日、第2回目のバーベキュー例会を開催いたします。ロータリアンの家族と楽しむ例会という事で、家族の皆様のご参加をお願いいたします。

点鐘6時、いつもより30分早くとなっております。今回は、災害支援ボランティア活動体験という事で災害時に出ます支援車の炊き出しの体験をしていただきます。

これから出席の申し込みの募集を致しますので、参加、不参加にかかわらず返事は出してください。

武田 姉妹クラブ委員長



皆さん今日は、家族委員会からご報告いたします。

9月11日、第2回目のバーベキュー例会を開催いたします。ロータリアンの家族と楽しむ例会という事で、家族の皆様のご参加をお願いいたします。

点鐘6時、いつもより30分早くとなっております。今回は、災害支援ボランティア活動体験という事で災害時に出ます支援車の炊き出しの体験をしていただきます。

これから出席の申し込みの募集を致しますので、参加、不参加にかかわらず返事は出してください。

小林 会員増強委員長



皆さん今日は、会員増強委員長の小林です。よろしくお願いいたします。

8月の会員増強の例会担当という事で、地区に問い合わせいたしましたところ、地区のロータリー情報委員長の栗山さんを紹介するという事に成りました。栗山さんありがとうございます。

それでは、渡辺さんに栗山さんのご紹介をお願いいたします。

卓 話

国際ロータリー第2570地区情報委員長 栗山昇様

講師紹介 渡辺会員

台風の前ぶれで、会員の皆さん心配して出席が少ないようですが、栗山様には、遠く朝霞の方からおいで頂き、恐縮のところでございます。

ご存知と思いますが、ロータリークラブでは役員が毎年、交代する事になっております。問題点は、なかなかそれぞれの部門の道におけるオーソリティと申しましょうか、スペシャリストがなかなか育たないという欠点もございます。そういう中で栗山さんは、ロータリーにとって大事な情報という事につきましては、まさに私どもの地区ではこんな立派な方はいないと思ひまして、先般おいでいただいたのですが、どうせ来ていただくのでしたら栗山様みたいな方に来ていただかないと損だと、こんな感情もございましてあえて近々で申し訳なかったのですが、お招きした経緯がございまして、当地区ではどこに出しても恥ずかしくない、しかも物事に大変詳しく、難しいことをわかりやすく話せる方なので本物でございます。大変今日は素晴らしいことになると思ひます。

(次頁へつづく)

とにかくロータリーの事に付いては本当にこれからどうあるべきかということも含めて、当然、その中に会員増強の事もはいつてくると思うし、例会の仕方等に付いても、又、皆様のそれぞれのロータリアンとして活躍の仕方等ご紹介があると思いますので、栗山さんよろしく願いいたします。

ありがとうございます。



私は、1月20日木曜日にですね、ちょうど7ヶ月前にですねこちらにお邪魔しまして、2004年の規定審議会のお話しをさせていただきました。

小池英輔年度のときは、ちょうど2001年の規定審議会は金子千持さんが代表理事で行かれまして、それで2001年の規定審議会についていろいろ勉強させていただきました。

先日はそうゆう形で2004年という事で、寺山さんが代表理事としていかれましてそれでたまたま2001年で一生懸命やらしていただきましたので、変更がすごく良くわかったわけでありました。

特に2001年の場合は本当に大幅な変更がありましたので、2004年は若干少なくなったような気がします。

2001年は相当数1200位の提案が出たらしいです。ですから今年は、ぜひ行田ロータリークラブからですね、最低一つは。私も今年は3年目これで卒業したいと思っていますので、最後のお願いで各クラブ一つは規定審議会に提案しようじゃないかということで、提案の仕方を会長さん、幹事さん、事務局にもお渡ししたいと思っておりますので、野中年度の地区大会で承認をとらなければだめなんですね。56クラブあるすべてに規定審議会に地区として出たということであれば相当関心があるんじゃないかと思えます。これは是非実現したいと思っておりますので是非、現会長さん、執行部の方、この規定はおかしいんじゃないかと思うところがたくさんあると思えます。そのうち一つでいいですから、是非これを変更したいという事で行田クラブの総会で今年12月承認を取っていただいて。

小池年度にクラブ奉仕部門委員長のとき、私は毎月2570の56クラブの状況を大宮地区で久世さんという方がゾーンコーディネーターをやっていたらして、私は毎月報告していたんです。それをおもいだしまして、私も増強には縁がないと思ったんですが、かなり縁があるんだなということでしばらくぶりに復習して参りました。

うるさくて申し訳ないんですが、今日4つのテストを体験させていただきました。これは1932年ハーバードテイラーという方が創作した言葉なんですね。その方が1954年R Iの会長になって6つの目標というのをR I会長として出したんですね。

- 1つ目は 過去に学んで行動せよ
- 2つ目は 他人と分かち合え
- 3つ目は この4つのテストで身を固めよ
- 4つ目は 青少年に対する奉仕と
- 5つ目は 国際親善
- 6つ目は 良きロータリアンは良き市民である

国際ロータリーの手続き要覧では、決まりがあるわけでありまして。今後これを作る場合は、必ず原文そのままを用いなさいという決まりがあるわけで、おくがましいですがお話しいたします。

この4つのテストの次にですね、これに照らしてから、と、この文句を入れなければだめなんですね。原稿はそうなっています。

会員増強に付きましてね、ガバナー月針の第2号8月号にですね、渡辺さんが素晴らしい文章を作った件があるんです。これを良く読んでいただければ、私はこれに尽きるんじゃないかという感じが致します。

いわゆる入りたい人より入れたい人を会員増強というテーマでもって、非常にわかりやすく指導してあります。したがいましてこのへんを良く読んでいただければ、十分わかるんじゃないかな。

わたしは自分の体験と、増強と情報という事でお話ししたいなと思っています。

私は本年度になって、ここで3回目の卓話でございます。最初は、志木のロータリークラブですね。クラブ奉仕部門のセミナーでお話ししました。中川さんという女性の会長さん、ロータリークラブに対するカルチャーショックを受けた、何も知らなかったと、是非来て勉強させてもらいたいという事で、定期的に講師として言ってくれといわれちゃったんですよ。

おととい火曜日に児玉ロータリークラブにいきまして、野村證券のプライベートゴルフ場の児玉ゴルフクラブのクラブハウスでやっているんですよ。あそこは32年目で来年鈴木年度の地区協のホストやりますので、一応地区協のですね簡単なノウハウを知っているいうか助言にきたんですけど、たまたま入会式があったんですよ。今年になって4名入ったそうです。

私がちょっと残念だったのは、入会式のやり方がぜんぜんわかってないですね。入会式はもっと格調高くやないとだめですね。入会式の手順があるんですね。

それからもう一つ、会員が入会したときはいつのときかというね、会費を払ったときなんですね。ロータリー情報委員会通称クラブ細則1年間顧問をつけなければならない、おくようにするとなっております。私はおととい児玉さんに行ったとき、この方の顧問、いわゆる教育者、指導面倒を見る人はどなたですかといったらないんですよ、それではだめなんです。

増強の一般論につきましては古くて新しい問題で
(次頁へつづく)

ニコニコ報告

ございます。やはり新会員をまず増やすべきなんです。新会員を入れるのは正会員でないと入れられないんですね。みなさんでないと入れない、推薦できないんですね。推薦権は一つの特権なんです。皆さんが一人一人がロータリーを知り尽くしてロータリーは楽しいという自覚を持っていただく事が、大事ではないかと思えます。

会員増強は集中してやらないとだめですね。1年かかって1年1人入れればいいやと思っちゃだめですね。8月ならば8月1ヶ月で入れないとだめですね。ある程度回らなければ絶対増やす事が出来ないと思うんです。

私、推薦できない理由いろいろあると思うんですけど、自分自身が迷っている人が多いんじゃないかと思えます。ロータリーは本当にいいのかな、俺にあっているのかな、疑問を持ちながらロータリアンである方が迷っていると思うんですよ。本当によければ、すぐにでも推薦すると思うんですよ。

それと、あとやっぱり退会防止ということが、先ほど増強委員長さんが言われましたが、増強と同じだというんですけれども、まったく同様に私は退会防止のほうが大事だともうなんです。

会員を選考するのに、会員の条件というのは3つだけしかないんです。善良な成人である、これは、クラブ定款に決まっているわけです。それから、職業上良い世評を受けている者、3つ目は事業主、役員、裁量権のある管理者、この3つだけしか条件がないんですよ。これは、国際ロータリーの定款にも載っています。

今、1業種5人になりましたけれど、入れなければ成らないということではないんです。1業種ひとりでは、当然先細りしてしまうという危機感がありましてそういう提案がなされていた。今の規定を良く見るとわかるんですけど、誰も反対者がいない場合はいいんですけど、誰かあった場合は、理事会で一応検討して、理事会で承認すればはいれちゃうんですよ。

ですから、新しい会員を入れる場合は、いろんな方々の、その辺の根回しというんですか、その辺をうまくやらないと新しい会員が入ったためにクラブがおかしくなってしまう、その辺、気をつけていただきたいなという風に思えます。

職業分類というものを1963年撤廃して、R1からの理事会で各クラブに任せるという事で、R1では指導しておりません。それと質か量かという問題、これは結論でないと思えます。

まだまだたくさんお話したい事は、いっぱいありますが時間になりましたので、今日はこのへんにさせていただきます。ご静聴ありがとうございます。

会長謝辞

栗山ロータリー情報委員長様には、本当にありがとうございました。

私も入会の条件という事で手続要覧を読んでいたんですが、改めて再認識いたしました。

善良な成人であるという事も含めまして、今後、推薦がこれからあがってくるかと思えますが、その辺も配慮して会員増強に努めたいと思えます。

今日は、短い時間ではありましたがありがとうございます。

☆内山会長…前回のガバナー公式訪問、会員の皆様のご協力に感謝いたします。

8月は会員増強拡大月間です。

栗山様、卓話ありがとうございます。

☆山本(憲)幹事…ようこそ栗山様、行田へおこしいたきありがとうございます。

☆黒淵会員…栗山ロータリー情報委員長、ようこそおいでくださいました。

☆渡辺会員…栗山様、台風の悪天候の中ようこそおいでくださいました。

☆小池(英)会員…歓迎、栗山様卓話。

☆石塚会員…歓迎、栗山様卓話。

☆諸貫会員…栗山さん、行田へようこそ。朝霞からご苦労様です。

☆永島(健)会員…本日、産経新聞に全面広告で

「水」問題、東京砂漠再来！？と。

貴重な水資源、私たち一人一人が【水】を大切にしましょう。

☆小山会員…栗山委員長、再度の卓話ご苦労さまです。一生懸命聞かせていただきます。

☆湯本会員…栗山様、今日は卓話ありがとうございます。

☆小林会員…栗山様、台風で足元の悪い中、卓話ありがとうございます。

☆蔭山会員…栗山さん、ようこそ。

☆武笠会員…栗山様、ようこそ。

☆稲垣会員…栗山様、ようこそ。

☆坂本会員…栗山様、ようこそ。

☆武田会員…栗山様、ようこそ。

☆小川会員…栗山様、ようこそ。

☆大野会員…栗山様、ようこそ。

☆鈴木(康)会員…栗山様、ようこそ。

☆古沢(勇)会員…栗山様、ようこそ。

☆清水(治)会員…栗山様、ようこそ。

☆古澤(憲)会員…栗山様、ようこそ。

☆中島会員…栗山様、ようこそ。

☆田山会員…栗山様、ようこそ。

☆小島会員…栗山様、ようこそ。

☆植田会員…栗山様、ようこそ。

合計 ¥ 3 0 0 0 0

出席報告

正会員数 72名 ● 出席率 56.94%
本日の出席者 35名 ●